

あるある

—身近なエピソードから学ぶ—

あおもり親楽プログラム

プログラム

プログラム
1

ダメったらだめ！ ～子どもの自我の芽生え～

あるある
エピソード

2歳6ヶ月のユウト君。

夕食の時間に、お母さんと同じように、コップに自分でお茶を注ぎたいと言っています。まだうまくつかめないなので、お母さんはきっとこぼしてしまうと思い、「お母さんが注いであげるからね。」と言いましたが、「いやっ」と言ってききません。

お母さんは「これはダメよ、こぼすからやめて！」と言いましたが、ユウト君は「いや、いや、自分で」と言ってペットボトルをとろうとします。

困ったお母さんは、「ダメったらだめ！」とユウト君の手をギュッと押さえて大きな声で言いました。



ワーク1 エピソードを読んで次のことについて話し合しましょう。

(1) ユウト君とお母さんの気持ちを考えましょう。

(2) あなたがお母さんだったらどうしましたか。

ワーク2 あなたのお子さんが最近やりたがることは何ですか。今後、どのように対応していきたいですか。

ふりかえり どんなことに気づきましたか。

プログラム
2

笑顔のママでいたいのに！ ～子育てのイライラとつきあう～

あるある
エピソード

洋子さんには、7歳のショウ君と3歳のユイちゃんの2人の子どもがいます。ショウ君が赤ちゃんのときはそうでもなかったのですが、ユイちゃんが生まれてからは2人の子育てで、時々イライラしてしまいます。

今日は家族で出かける日でしたが、ユイちゃんがなかなか着替えをさせてくれません。その間、ショウ君はゲームに、お父さんはスマホに夢中で、一向に出かける準備をしません。

出かける時間が気になってきた洋子さんは、ショウ君を「何をしているの。早くしなさい！」と、ガミガミ叱ってしまいました。



ワーク1 エピソードを読んで次のことについて話し合みましょう。

- (1) この後、子どもたちとお父さんはどうしたでしょう。
- (2) お母さんはどうしたらよかったでしょう。

ワーク2 あなたは子育てのどんなときにイライラしますか。また、子育てのイライラとうまくつきあうにはどうしたらよいでしょう。

ふりかえり どんなことに気づきましたか。

プログラム
3

子ども同士のトラブル、SOS ～ルールを教える～

あるある
エピソード

ショッピングセンターのおもちゃ売り場でのこと。

7歳のケンジ君が、新作ゲーム機で遊んでいます。そこに、5歳のショウタ君が通りかかりました。ショウタ君はケンジ君の後に並び、自分の番を今か今かと待っています。

ところが、ケンジ君はゲームに夢中で、2度3度とゲームオーバーになっても一向にゲーム機を譲ろうとしません。

ショウタ君は「次、貸してよ!」と言いましたが、ケンジ君は「ちょっと待って!」と、譲ってくれません。とうとうコントローラーの取り合いになり、ショウタ君は泣いてしまいました。

それを見ていたショウタ君のお母さんは、「ショウタ、我慢なさい!」と叱りました。

近くにはケンジ君のお父さんとお母さんもいました。



ワーク1 エピソードを読んで次のことについて話し合みましょう。

(1) ケンジ君、ショウタ君、ショウタ君のお母さんの気持ちを考えましょう。

(2) 2人の子どものお父さん、お母さんはどうしたらよかったですでしょう。

ワーク2 子ども同士のトラブルなど社会生活のルールを身につける場面では、今後どのように対応していきたいと思いませんか。

ふりかえり どんなことに気づきましたか。

プログラム
4

ケンタ君のあくび ～子どもの生活リズム～

あるある
エピソード

いつも元気なケンタ君は4歳。

今朝はなかなか起きられず、お母さんに何度も起こされてやっと目が覚めました。目をこすりながら朝ごはんを少し食べ、保育園に行きましたが、午前中から「あ～あ」と大きなあくびばかりで元気がありません。

昨日の夜のこと。ケンタ君はいつも午後8時までには寝るようになっていますが、布団に入ろうとしたとき、お父さんが仕事を終えて帰ってきました。ケンタ君の顔を見たお父さんは、久しぶりに親子のふれあいができると思い、うれしくなって「ケンタ、今から遊んであげるよ。」と言いました。お母さんは「少しだけよ。」と言いましたが、それから、ケンタ君とお父さんは午後10時過ぎまで遊んでしまったのです。



ワーク1 エピソードを読んで次のことについて話し合みましょう。

- (1) あなたのお子さんの朝の様子をふりかえてみましょう。
- (2) ケンタ君のお父さんやお母さんはどうしたらよかったですでしょう。

ワーク2 なぜ、子どもの生活リズムを整えることが大切なのでしょう。

ワーク3 「早寝早起き朝ごはん」の習慣をつけるために、どのような工夫をしたいと思いますか。

ふりかえり どんなことに気づきましたか。

プログラム
5

わが子も大きくなりました！
～子育て年表を作ろう～

エピソード

あるある

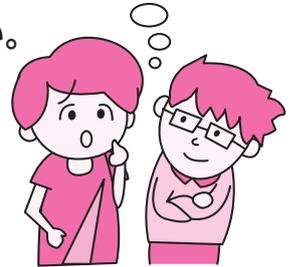
※使用するワークシート枠は P42 に掲載しています。

わが子も小学生になりました。子育て生活も7年目をむかえます。わたしも家族もいろいろなことを体験してきましたし、わが子のよいところもずいぶん分かってきました。これからもいろいろなことに対応し、自分らしく子育てしたいです。

■小学校1年生で実施する際のワークシート例

	子の年齢	園・学校等	子育ての出来事	
これまでの (7)年間	0才		××××年〇月〇日 △時〇分に生まれる。	生まれた日を思い出 し、子育ての原点を 感じましょう。
	1才		1才の誕生日。よちよち歩き。遊びのマイブームは積み木。	
	
	4才	幼稚園	第2子が生まれる。お姉ちゃんになってよく面倒をみてくれた。	楽しかったことや 困ったことなどを 書きましょう。
...	...			
現在	7才	小学校	〇〇小学校入学。1年1組。友だちができるか心配。	
	
これからの 10年間	12才		生理が始まる。思春期になったら、口数が少なくなる！？	わが子の成長を想 像してみましょう。
	
	17才		もうすぐ高校を卒業。	

ワーク1 これまでの子育てにおいてどのような出来事がありましたか。



ワーク2 今後の10年間の子育ての出来事を予想しましょう。

ワーク3 これから、どんな親になりたいと思いますか。

ふりかえり どんなことに気づきましたか。

プログラム
6

家族の一員としての役割を持たせよう ～自立を願うなら、自分のことは自分で～

あるある
エピソード

ハルト君は、ゲームやおもちゃを広げっぱなしで片づけがなかなかできません。そこで、家族で話し合いをして、小学校1年生になったのをきっかけに、「自分で使ったものは自分で整理整頓」することになりました。

はじめの日こそがんばったのですが、次の日から、お母さんが「早く片づけなさい」と言っても、「もうちょっとしてから」と言って、なかなか片づけようとしません。

学校の教科書まで広げっぱなしだったり、夕食の時間になっても片づけが進まなかったりして、お母さんはついつい見かねて手を出してしまいます。



ワーク1 ハルト君が片づけをできないのはなぜでしょう。

ワーク2 あなたがお母さんだったらどうしますか。

ワーク3 子どもに家庭での役割を持たせるために、どのような工夫をしたいと思いますか。

ふりかえり どんなことに気づきましたか。

プログラム
7

いい一日は、いい「おはよう」から！ ～家庭でのあいさつ～

あるある
エピソード

朝6時半。小学2年生のマリさんが起きてきました。お母さんは忙しそうに朝食をつくっています。お父さんもまもなく出勤なので慌ただしく身じたくをしています。

マリさんは、元気に起きてきて「おはよう」と言いましたが、二人とも気づいていないのか、お母さんからもお父さんからもあいさつがかえってきません。



ワーク1 マリさんの気持ちを考えましょう。

ワーク2 お父さんやお母さんはどんなあいさつをしたらよいか考えてみましょう。

ワーク3 家庭で気持ちのよいあいさつを交わすために、どのようにしていきたいですか。

ふりかえり どんなことに気づきましたか。

プログラム
8

わたしの話、聞いている？ ～親子の会話～

あるある
エピソード

午後6時。仕事から帰ったお母さんが夕飯の支度をはじめると、小学4年生のミサトさんが帰ってきました。

ミサトさんは、今年から始まる部活動のことをお母さんに話しかけました。「お母さん、部活動どうしよう。わたしは卓球部がいいかなって思ってるんだけど、カオリちゃんは音楽部もいいなって。」ミサトさんが話しかけてもお母さんは支度の手を休めません。

話を聞いてほしいミサトさんが、お母さんの手を引っ張ると、「あーはいはい、忙しいからあとでね！」と言われてしまいました。

ミサトさんは、「お母さんなんか、もういい！」と言って自分の部屋に行ってしまいました。



ワーク1 子どもとの会話がうまくいかなかったことはありますか。

ワーク2 エピソードを読んで、次のことについて話し合みましょう。

- (1) ミサトさんの気持ちを考えましょう。
- (2) あなたがお母さんだったらどうしますか。

ワーク3 子どもと会話するとき大切にしたいことは何ですか。

ふりかえり どんなことに気づきましたか。

プログラム
9

わが子がイキイキしてる！ ～体験活動のススメ～

あるある
エピソード

コウジ君はゲームが大好きな小学4年生。学校から帰ってくると、毎日、ゲーム機にくぎづけになり、宿題はついつい後回し。休日は友人のソウタ君が遊びに来て、2人でゲーム三昧です。

そんなある日、お父さんが「コウジ、今度の日曜日、公民館でイワナのつかみ取り体験があるけど、行ってみるか？」と言いました。「面白そうだね、行ってみようかな。じゃあ、ソウタ君も誘っていい？」とコウジ君。「もちろん！」お父さんは喜んで答えました。

日曜日、公民館にやってきたコウジ君とソウタ君。魚のつかみ取りはもちろん、生きたイワナを見るのも初めてです。公民館の職員さんにコツを教わりながらも、つかめそうでなかなかつかめないイワナに、コウジ君とソウタ君はイキイキとして大はしゃぎ。

「お父さん、今度は川にイワナ釣りに連れて行ってよ。」とコウジ君。「僕も連れて行って。」とソウタ君。お父さんは思わず、にっこり。



ワーク1 お父さんは、コウジ君とソウタ君の、イキイキしている様子を見てどんなことを思ったでしょう。

ワーク2 あなたは、お子さんにどんな体験をさせていますか。活動しているときのお子さんはどんな様子ですか。

ワーク3 子どもが自然体験、奉仕活動、地域活動等、いろいろな体験ができるよう、今後どのようなことをしていきたいと思いませんか。

ふりかえり どんなことに気づきましたか。

プログラム
10

わが子の小さな勇気 ～思いやりのある子に育てるには?～

あるある
エピソード

小学5年生のヤスオ君、リョウ君、タダン君は、いつも一緒に仲良し3人組。学校が終わり、いつものように3人で家に帰る途中、両手に大きな荷物を持ったおばあさんが歩いていました。おばあさんの荷物は重そうで、ふうふう言いながら、ゆっくりと歩いていました。

3人はそのまま追い越そうか迷いましたが、勇気を出してヤスオ君が声をかけました。「おばあさん、こんにちは！どこまで行くんですか？」

おばあさんの行き先はヤスオ君の家の近くだったので、3人は交替で荷物を持ち、おばあさんとおしゃべりしながら、一緒に帰ることにしました。おばあさんは笑顔で「ありがとうね、ありがとうね。」と、何度もお礼を言いました。

偶然、仕事の途中、そこを通りかかったヤスオ君のお父さんは、その様子をじっと見つめていました。



ワーク1 お父さんはどんな気持ちでヤスオ君を見つめていたのでしょうか。

ワーク2 あなたが、子どもに思いやりの心が育っていると思うときはどんなときですか。

ワーク3 思いやりの心を育てるために、今後どのようなことをしていきたいと思いませんか。

ふりかえり どんなことに気づきましたか。

プログラム
11

タブレット、どう使う？ ～ICT機器使用のルール～

あるある
エピソード

ミドリさんは小学5年生。3ヶ月前、誕生日プレゼントに両親から、念願だったタブレットを買ってもらいました。タブレットが届いた日、ミドリさんは、お父さん、お母さんと話し合い、早速ルール作りをしました。

・使用は1日60分まで。 ・宿題を先に済ませる。 ・使用場所はリビングのみ。

ミドリさんのお目当ては、男性アイドルグループのマサヒロ。タブレットの向こうには、マサヒロの情報が盛りだくさん。ブログ、SNS、新曲情報やテレビ番組の出演情報。さらには、学校でも人気の動画サイト…。1日60分までの約束が、最近は少し長くなりがちです。

「5分くらいは目をつぶってもいいか。」「休みの日ぐらいはゆっくり使わせてあげたいなあ。」「でも、ルールを守らせることも大事だし…。」

お父さんとお母さんは、3ヶ経った今、ミドリさんと、もう一度ルールについて話し合おうと思いました。



ワーク1 ルールを守れなくなりかけているミドリさんの様子を見て、お父さん、お母さんは、どんなことを思ったでしょう。

ワーク2 ICT機器（家庭用ゲーム機も含む）の使用について、家庭でルールを決めていますか。どのようなルールを決めていますか。

ワーク3 子どもにルールを守ってICT機器を使用させるために、親としてできることは何ですか。

ふりかえり どんなことに気づきましたか。